

総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立下小岩小学校

校長名 地主 貴子

名称:総合

学校の教育目標	・自ら考える子 ・心豊かな子 ・たくましい子
---------	------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通すこと
- 2 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること
- 3 地域の一員として積極的に地域社会に参画しようとする態度を養う。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・問題状況の中から課題を発見し、設定する。 ・必要な情報を収集し分析する。 ・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てる。 ・必要な情報を収集し、分析する。 ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする。
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの行為について意思決定する。 ・自らの生活の在り方を見直し、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協同して課題を解決する。 ・自己の将来を考え、夢や希望をもつ。
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・異なる意見や他者の考えを受け入れる。 ・身の回りの環境とのかかわりを考えて生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の国とのかかわりを考えて生活する。 ・課題の解決に向けて地域の活動に参加する。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	フラワーロードで働く人々の姿。地域における商店街の役割と自分たちとの関わり。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお店で働く人々の思いを知り、愛着を持つ。 ・商店街が自分たちの暮らしを安全で豊かなものになっていることに気付く。
第4学年	地震や台風などの身近な自然災害。自分たちが住む街の水害対策。	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した際の対処法や実践について知る。 ・江戸川区ハザードマップを活用した学習。
第5学年	世界で活躍する障がいを抱える人々。バリアフリーの視点に立った街づくり。雪国について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックについての学習。 ・自分達が住む街を、誰もが暮らしやすい街にしていけるための検討。 ・ウインタースクールで訪問する新潟県を知る。
第6学年	自分たちの街の住みやすさ。日光について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・小岩の街が住みやすい街の方法を考える。 ・日光をはじめとする世界遺産を知る。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・3年生は地域、4年生は環境・災害、5年生は国際理解、福祉、6年生はキャリアを主なテーマとする。 ・各学年の学習状況や地域との関係に合わせて、テーマを変更、交換し、学年の実態に合った指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識を次の課題へ連続し発展させる支援 ・個に応じた指導の工夫と言語活動の充実 ・共同的に取り組むグループ活動の充実 ・教科との関連的な指導の重視 ・対話を中心とした個別支援の徹底 ・言語活動による体験の意味の自覚化 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整と支援体制の確立 ・地域教育力の人材バンク、学校応援団への登録と効果的運用 ・ICT支援員を活用し、ICT技能も同時に高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用した評価の充実 ・観点別学習状況の評価規準の設定 ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の充実 ・指導計画の評価の実施 ・授業分析による学習指導の評価の重視